

経済・金融 フラッシュ

中国経済:3/1 発表の製造業PMI ～足元は3ヵ月連続悪化、予想指数は大幅改善

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

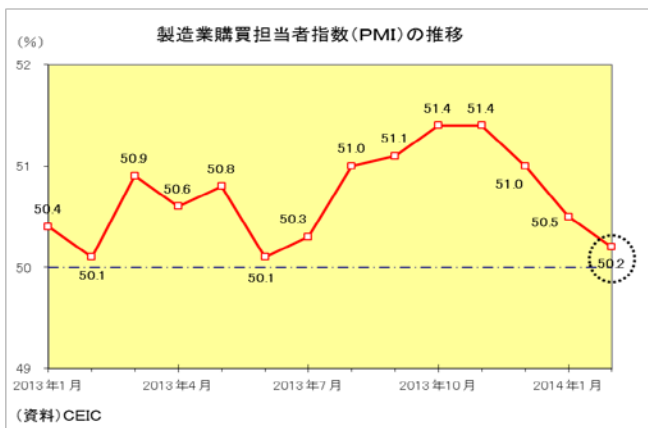
- 2月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は50.2%と前月比0.3%ポイント低下、3ヵ月連続で前月の水準を下回り、2013年10-11月をピークとして低下傾向が続いている。
- 1-2月に製造業PMIが悪化したのは春節（旧正月）の影響と指摘される。過去の動きを見ると、1-2月は悪化することが多いとともに、その後の3月は改善することが多い。
- また、生産経営活動予想指数（今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す）が前月より10.5%ポイントの大幅改善となった。在庫調整が終了したのか否か次回発表が注目される。

【 総合指数は3ヵ月連続の悪化 】

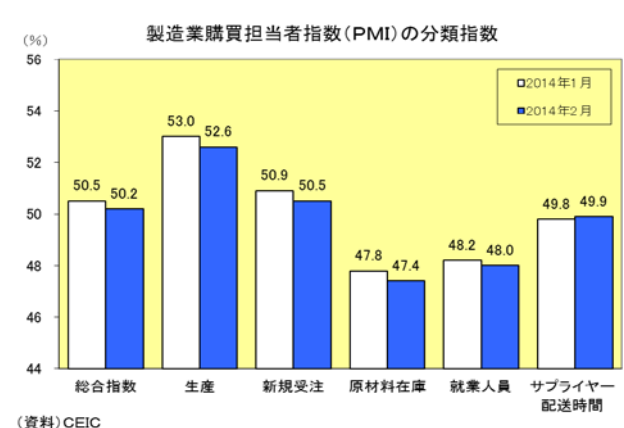
3月1日（土）、中国の国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は2014年2月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると総合指数は50.2%と前月と比べて0.3%ポイント低下した。拡張・収縮の分岐点となる50%を17ヵ月連続で上回ったものの、3ヵ月連続で前月の水準を下回り、2013年10-11月をピークとした低下傾向が依然として続いていることが確認された（図表-1）。

図表-2 に示した分類指数を見ると、生産指数が前月比0.4%ポイント悪化、新規受注指数が同0.4%ポイント悪化、原材料在庫指数が同0.4%ポイント悪化、就業人員指数が同0.2%ポイント悪化、サプライヤー配送時間指数（逆指数）が前月比0.1%ポイント悪化と、5つ全ての分類指数で前月より悪化した（図表-2）。

（図表-1）



（図表-2）



【 次回発表では上ぶれる可能性がある 】

中国国家统计局サービス業調査センターの解説では、1-2月に製造業PMIが悪化したのは春節（旧正月）の影響があると指摘している。過去の動きを見ると、季節調整後とはいえ調整の癖なのか1-2月は悪化することが確かに多い（図表-3）。また同時に、その後の3月は改善することが多いというアノマリーもあるため、次回4月1日に発表される3月は上ぶれる可能性があるだろう。

なお、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は2月も48.2%と前月と比べて1.1%ポイント悪化、拡張・収縮の分岐点となる50%を3ヵ月連続で下回った（図表-4）。

（図表-3）

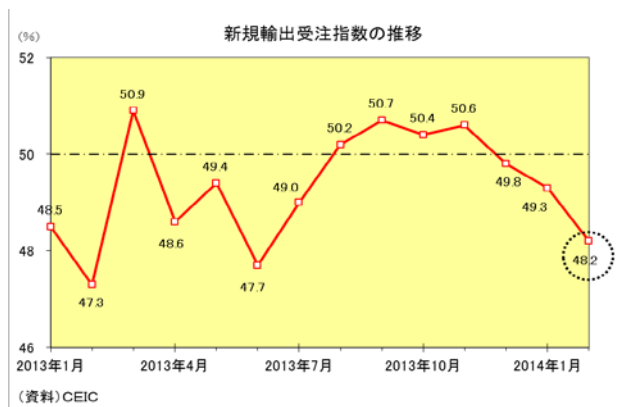
【製造業PMIの前月比(当月値-前月値)】

月	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
1	▲0.8	▲1.0	0.2	▲0.2	▲0.5
2	▲3.8	▲0.7	0.5	▲0.3	▲0.3
3	3.1	1.2	2.1	0.8	
4	0.6	▲0.5	0.2	▲0.3	
5	▲1.8	▲0.9	▲2.9	0.2	
6	▲1.8	▲1.1	▲0.2	▲0.7	
7	▲0.9	▲0.2	▲0.1	0.2	
8	0.5	0.2	▲0.9	0.7	
9	2.1	0.3	0.6	0.1	
10	0.9	▲0.8	0.4	0.3	
11	0.5	▲1.4	0.4	0.0	
12	▲1.3	1.3	0.0	▲0.4	

（資料）CEICのデータを元に作成

（注）2013年1月に調査ユニバースが820社から3000社へ拡大

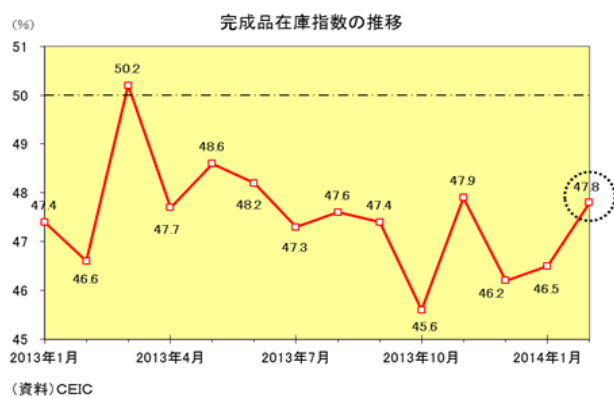
（図表-4）



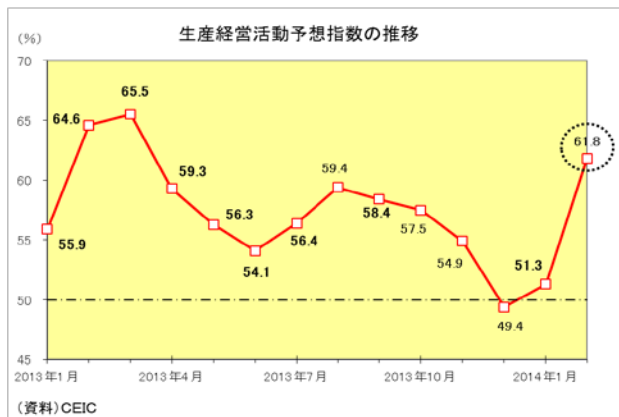
【 予想指数は大幅改善 】

一方、2月の完成品在庫指数は47.8%と前月と比べて1.3%ポイント上昇した（図表-5）。2月には輸出が春節後の反動減で低迷したと見られることから、今回の完成品在庫の増加は輸出低迷による在庫の積み上がりなのかもしれない。しかし、生産経営活動予想指数（今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す）が61.8%と前月より10.5%ポイントの大幅改善となったことと考え合わせると、在庫調整終了による在庫積み増しの可能性もあるので、次回を注目したい（図表-6）。

（図表-5）



（図表-6）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。